

12/25



第32回「小さな親切」作文コンクールで入選した勝間小学校4年の真鍋里桜さんが、市長を表敬訪問しました。入選作は『「生け花」から始まる親切』と題した作文で、駅に40年間毎日花を生けているおばさんにスポットをあ

てて、きれいにしている所にゴミはないと感じたことを、素直な文章で表現したものです。

山本町の寺上地区が、(財)自治総合センターの宝くじの助成で獅子着物1枚、宮太鼓3組、太鼓の収納箱3個などの祭用を整備しました。新調された用具は山本町辻地区の菅生神社の秋祭りでお披露目され、祭りに花を添えました。



12/15

みとよ福祉まつりが各種団体の協力を得て、山本町農村環境改善センター前駐車場と山本町保健センターで行われました。ステージでは、山本保育所のよさこい踊り、リズムくらぶにこのこのダンスなどが元気よく披露され、大勢の人から大きな拍手が送られました。また、体験コーナーでは、『竹パンづくり』があり、みんなで炭火を囲んでくると、珍しいパン作りを楽しみました。

みとよHOT ほっとNEWS



12/23



豊中町体育館で第2回三豊市長杯中学校バスケットボール大会が開催されました。市内の中学校のバスケットボール部が集まり、熱戦を繰り広げました。結果は次のとおりです。

男子 優勝 三豊中学校
準優勝 和光中学校

女子 優勝 高瀬中学校
準優勝 豊中中学校



12/6~9

沖縄県的那覇市民体育館で開催された全国ラージボール卓球大会で、真鍋英雄さんが優勝しました。日本一は今回で3度目。種目は混合ダブルス(ペアの合計年齢が140歳以上の部)で、高松市の穴吹イソさんと組んで出場しました。いつまでもお元気で、ご活躍ください。

12/14

国営農地防災事業勝田池改修工事の見学会に、比地大小学校の4年生と笠田小学校の3、4年生、勝田池水利組合の皆さんが参加しました。勝田池は受益約100haのたいへん大きな池で、2年かけて堤体や底樋(そこひ)などを改修しています。見学に訪れた児童たちは、今回の工事のしかただけでなく、勝田池の出来たいきさつやため池の役割などを、現場を見学しながら学びました。





1/1~3

恒例の朝日山森林公園新春祭が開催されました。元旦には、伊勢朝日山本宮で高瀬子ども太鼓 壁響(どん)による元気な初打ちが行われるなど、境内は多くの参拝客でにぎわいました。明け方はあいにくの雪もようでしたが、雲の切れ間から初日の出も見る事ができました。



1/7

三豊安全運転管理者協議会と三豊地区交通安全経営者協議会、三豊交通安全協会の皆さんが、そろって恒例の交通安全祈願を行いました。大水上神社で今年1年の交通事故防止を祈願したあと、三豊警察署まで移動して交通安全初荷キャンペーンを行い、ドライバーに交通安全を呼びかけました。



12/15

「子どもファーム・ネット」全国交流会に香川県から参加する比地大小学校、桑山小学校、下高瀬小学校の児童らが市長を表敬訪問しました。3校は、『かべ新聞』に、農業体験で発見したことや感想などを上手にまとめて、全国で47点の入選グループに選ばれました。

また、下高瀬小学校は、創意工夫を生かした温暖化対策の取り組みを発表する「ストップ温暖化大作戦」にも、香川県代表として参加します。



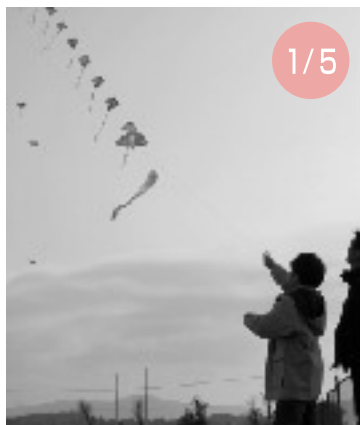
高瀬町総合体育館で第2回市長杯争奪卓球バレー大会が開催されました。卓球バレーとは、卓球台の周りに6人ずつがイスに座り、かまぼこ板のようなラケットを使って、3打以内で相手コートへ返球するものです。ピン球をネットの下で転がすので、誰にでも楽しめるスポーツです。大会当日には、子どもから高齢者、障害者も一緒になって優勝を目指しました。結果は次のとおりです。

優勝 さらスポーツクラブ
準優勝 レッドマックス



1/11

須田保育所で地域の老人会の皆さんを招いてのお楽しみ会がありました。まずは5歳児がお茶会でもてなした。園児は、自分たちで絵を描いた器に、心を込めてお茶をたてました。お茶会のあとのステージでの発表会では、児童たちは年齢別に劇や遊戯、老人会の皆さんも歌や踊りなどを元気に披露し、世代を超えて楽しくふれあいました。



1/5

新春たこあげ大会が、山本ふれあい公園多目的広場で開催されました。当日は、ちょうど良い風も吹いていて、和だこ作り教室で作ったたこなどが、大空高く舞い上がりました。たこあげが終わったあとは、七草の会のボランティアによる『七草がゆ』も振る舞われました。参加者は新春の行事を満喫しました。

12/13・14

辻幼稚園の園児がしのはら医院デイサービス・ふたな荘へ慰問し、歌や踊りに肩たたきのプレゼントをしました。園児は、地元のお年寄りとおふれ合うことができ、とてもうれしそうでした。また、おじいちゃんやおばあちゃんも、自分の孫に肩を叩いてもらっているかのように、目を細めてほほ笑んでいたのが印象的でした。

